

《消費生活センター着工へ》

賢い消費者養成と市民憩いの場に

商品テスト室や
展示コーナーも

老朽化が激しく、先に解体をした労働会館のあとに、新しく「留萌地域消費生活センター」が建設されることになりました。

このセンターは、より賢い消費者の育成と、市民に消費の正しい意識の高揚を図るための施設として早期建設が待たれていたものですが、いよいよ今月より着工、十二月下旬の完成をめざして、工事は急ピッチに進められています。

またこのセンターには、隣接して留萌労働金庫も併置されています。

このセンターの大きな特徴は、消費者のための施設として使用されるということで、商品のテスト室や展示コーナーなどが配置されていることです。

建物は鉄筋コンクリート三階建、総面積約千二百平方メートル（うち三百平方メートルは労働金庫分）で、総工費約一億七千五百万円。

一階には食堂、会議室、二階には研修室二室（和室）を始め相談室、消費者の相談や買物調査等による品物のテスト室、消費意識の向上や生活改善などのアイデア製品などが、ひと目で見られる展示コーナー、より食生活への工夫を

高めていただくための料理講習室などを配置しています。

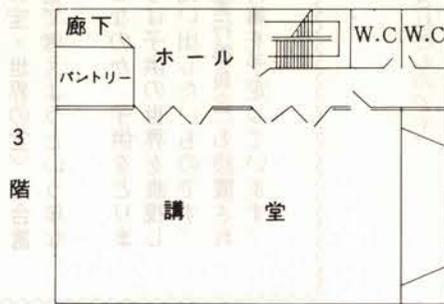
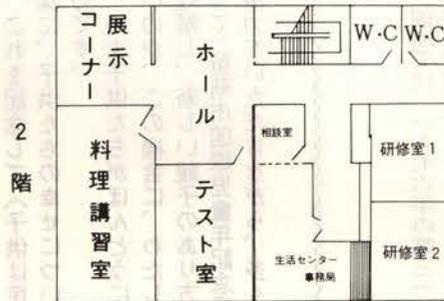
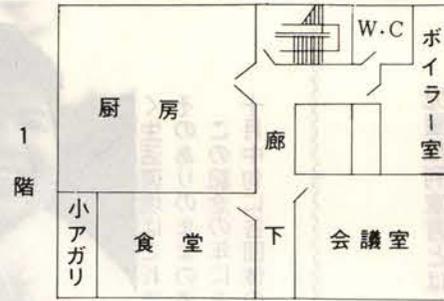
そして三階には講堂で約二百平方メートルの広さで、結婚式などでは百五十人前後の人員を収容する大きさで、ステージも併置されています。

また、このセンターには消費者相談の窓口となるため、従来の相談員を常駐させ、迅速に苦情等の処理にあたることも、消費活動の強化に大きな役割りを果たすこと

になるでしょう。

さらには市民の方々が憩う場として、その効果的な活用がされることになっていきます。

消費生活センター各階図



創業88年を記念して

沢井商店二百万円を寄付

「明るいマチづくり」に役立ててくださいますと市内でも老舗といわれる沢井商店（沢井正二社長）から、二百万円が市に寄付されました。

沢井商店は明治二十四年創業を開始し、ことしで八十八年という、

人であれば米寿にあたるということから、これを記念して寄付をしていただいたものです。

いただいた寄付は、市政運営の中で役立てることになっています。

市民芸街祭14日から 展示や発表会など盛りだくさん

昭和54年度留萌市民芸術祭団体

期	間	時	間	発表展示名	使用場所	参加団体名
9・14~15	全	日		高令者ポートレート写真展	ロビー	光画会
9・14~17	全	日		茶華道展	小ホール、和室A、B、C	英会
9・19~23	全	日		第11回萌美展	ロビー	留萌地方美術協会
9・23	全	日		詩吟発表会	小ホール	岳風会
9・23	全	日		8mm映画上映	視聴覚室	シネ8mmの会
9・29	13:00~20:00			民謡芸能の夕べ	文化センター	千鳥会、声友会、佳舟会、北管会、声和会、民伴
10・5~7	全	日		作品展示会	ロビー・研修AB	公サ連協、藤工芸グループ
10・7	全	日		バレエ発表会	文化センター	留萌バレエ研究会
10・13~14	全	日		俳句発表会	ロビー	留萌俳句協会
10・14	全	日		合同発表会	文化センター	紅の会、三曲会、風流会、花柳流白舞

ことしの市民芸術祭は、次の各団体が参加し、展示や発表会で私たちの目や耳を楽しませてくれることになっています。

展示物は公民館ロビー、または研修室、小ホールなど、発表会は文化センターが主会場となります。



文化庁移動芸術祭オペラ公演

名作「カルメン」を上演

留小の児童も合唱出演します

優れた舞台芸術を多くの方々に低料金で観賞していただくために、例年文化庁等が主催して開催している移動芸術祭は、今回はオペラ公演として二期会による《オペラカルメン》を21日に公演することになりました。

また、このオペラの第一幕の中で、留萌小学校の児童12名が、近所の子供役で兵隊たちとの合唱場面に出演します。

□とき 9月21日（金）開演午後6時
□ところ 留萌市文化センター
□「カルメン」は、作曲者ビゼーの最大傑作であるとともに真にフランスの国民歌劇の名にふさわしいオペラです。物語りは4幕で構成されており、地方色豊かな情熱的な作品であり、今



日、世界のどの劇場でも最大の人気を誇っています。

□料金 指定席 2,500円 自由席A 2,000円 B 1,000円

□前売所は、中央公民館、喫茶ビューネ、純喫茶パンセ、今時計店です。なお、お問い合わせは市教育委員会社会教育課（☎23333番）へ